

講義名	日本語資格試験講座Ⅱ【留学生科目】		
科目区分	留学生		
担当教員	野村 由香里		
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 3時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科/2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2018年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	1年生	単位数	2
備考			
主題と概要			
日本語能力試験N1の合格を目指し。文法を中心に授業を行う。まず文法の意味と接続の形を様々な例文を挙げながら理解をする。また、学習した文法項目が日常でもつかえるように、例文作り等も行う。			
到達目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. N1に合格できる文法力を身につける 2. 学習した文法項目を実際にも読んだり、聞いたりした時に分かるようになる 3. 既習の文法を使い、例文を作ることができるようになる 			
提出課題			
授業中に指示			
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
授業中に個別に指示			
評価の基準			
中間試験（50%） 期末試験（50%）			
履修にあたっての注意・助言他			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 出欠確認は毎回点呼を行う 2. 5回以上欠席した場合は期末試験を受けることができない 3. 授業が始まって15分以内の入室は遅刻とみなし、遅刻3回で1回の欠席となる 4. 15分以上の遅刻は欠席とみなす（授業は受けてもよい） 5. 授業時には辞書を携帯すること 			

教科書
. 使用しない。
プリント資料及び参考文献
<ol style="list-style-type: none"> 1. 『くらべてわかる日本語表現文型辞典』大阪YWC A Jリサーチ 2009 ISBN978-4-901429-72-6 2. 『スーパ-合格日本語能力試験N1文法対策標準テキスト』行田悦子他著 秀和システム 201 ISBN 978-4-7980-2564-3 C0081 3. 『日本語文型辞典』グループ・ジャマシイ くらしお出版 1998 ISBN 4-87424-154-9
授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容や評価方法の説明/N1文法のチェック 2. 「同時に・すぐに」という意味を表す機能語① 3. 「同時に・すぐに」という意味を表す機能語② 4. 「同時に・すぐに」という意味を表す機能語③ 5. 「理由・逆説・仮定」という意味を表す機能語① 6. 「理由・逆説・仮定」という意味を表す機能語② 7. 「理由・逆説・仮定」という意味を表す機能語③ 8. 中間期理解度試験の実施とその解説 9. 「目的や驚きの表現」という意味を表す機能語① 10. 「目的や驚きの表現」という意味を表す機能語② 11. 「目的や驚きの表現」という意味を表す機能語③ 12. 「程度ととりたて」という意味を表す機能語① 13. 「程度ととりたて」という意味を表す機能語② 14. 「程度ととりたて」という意味を表す機能語③ 15. 総復習及び期末定期試験の傾向と対策
授業形態（アクティブ・ラーニング）
○ ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業前には学習する新しい機能語に目を通しておくこと 2. 授業後、学習した機能語の意味と接続の形を理解、定着させるために、実際の問題を何度も解いてみる 3. 既習の機能語が日常どんな場面で使われているかに注意し、積極的に使用すること <p>以上、1時間程度。</p>
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
実務経験の有無及び活用
備考